

さいたま市文化財時報

かや 柩りぼーじ

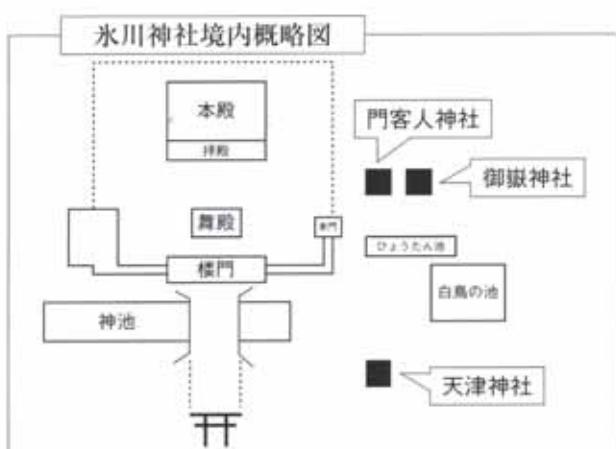
第 41 号

平成22年度 新指定及び指定解除文化財

さいたま市教育委員会は、平成23年3月30日付けで、「大宮氷川神社摂社門客人神社本殿・摂社天津神社本殿・末社御嶽神社本殿」及び「法光寺のシイノキ」の指定を行いました。

また、県指定無形文化財「江戸木目込人形」の保持団体として、岩槻江戸木目込人形技術保存会が追加認定されました（平成23年3月18日）。なお、保持者（鈴木賢一氏）は、お亡くなりになられたため、認定保持者を解除されました（上記同日）。

これにより、市内に所在する市指定文化財は441件、国・県指定を含めた総件数は523件となりました。この他に、市内には6件の国登録有形文化財があります（平成23年4月1日現在）。



▲ 摂社門客人神社本殿



▲ 摄津天津神社本殿



▲末社御嶽神社本殿

平成22年度文化財の指定及び解除一覧

●新指定

種別	名称	員数	所在地	所有者
有形文化財 (建造物)	大宮氷川神社摂社門客人神社本殿・ 摂社天津神社本殿・末社御嶽神社本殿	3棟	さいたま市大宮区高鼻町 4丁目1番地	宗教法人 氷川神社
天然記念物	法光寺のシイノキ	1株	さいたま市西区大字高木 1460番地	宗教法人 法光寺

●指定解除

種別	名称	員数	所在地	所有者	理由
天然記念物	小溝の柳	1本	岩槻区大字小溝	個人	倒壊
天然記念物	サザンカ	1株	桜区西堀10丁目	個人	枯死
天然記念物	キャラ	1株	浦和区常盤1-8-28 (常盤公園内)	さいたま市	枯衰
天然記念物	氷川参道の並木	2本減 (員数変更)	大宮区吉敷町～高鼻町	宗教法人 氷川神社	枯衰による倒壊 の危険性

有形文化財（建造物）

新 指 定

大宮氷川神社摂社門客人神社本殿・ 摂社天津神社本殿・末社御嶽神社本殿

大宮氷川神社は、さいたま市大宮区高鼻町に位置し、第五代孝昭天皇の頃に創建されたと伝えられ、古来より武藏国一宮として篤く崇敬された神社です。

この度、氷川神社境内にある摂社門客人神社本殿・摂社天津神社本殿・末社御嶽神社本殿について、新たに指定を行いました。この門客人神社・天津神社・御嶽神社は、寛文7年（1667）造営の旧本殿です。



▲門客人神社・虹梁



▲天津神社・基壇、亀腹

三社殿ともに三間社流造で、屋根は現在銅板葺（当初檜皮葺）になっています。基壇上に亀腹を据えて立ち、身舎柱は円柱、前面三間の向拝柱は角柱となっています。三社殿の渦や若葉の彫刻は十七世紀後半と推定され、氷川神社所蔵『官幣大社氷川神社明細書』・『官幣大社氷川神社由緒調査書』に記述されている寛文7年（1667）が、現遺構の建立時期を示すと考えられます。元禄年間や享保年間を始めとして、数度の修理が行われ、また、板壁や床などにも、近年の改修が加えられているものの、十七世紀後半の建築的特徴をよく残し、寛文7年造営の社殿としてきわめて貴重な遺構であるとして、市の指定となりました。

新指定**天然記念物
法光寺のシイノキ**

樹高15m 枝張りは東西20.05m、南北20.5m
(東側9.75m、西側10.3m、北側12.2m、南側8.3m)
胸高周囲4.53m 根回り7.4m

樹勢良好で、均整のとれた形をしており、一古木に
ありがちの枯死した大枝、組織の壊死がありません。
シイノキの特徴である、ドーム状の樹冠（剪定を殆ど
行っていない）を保ち、堂々として古木の雰囲気があ
ることから、指定文化財となりました。樹高や目通り
幹囲、枝張りなど、他のさいたま市指定文化財のシ
ノキと比較しても遜色がありません。

**TOPICS**

・県指定無形文化財「江戸木目込人形」の岩槻江戸木目込人形技術保存会が、保持団体として認定されま
した。

県指定無形文化財「江戸木目込人形」の保持団体として、岩槻江戸木目込人形技術保存会が平成23年3
月18日に追加認定されました。また、同日、保持者であった鈴木賢一さんの御逝去に伴い、保持者の認定
が解除されました。

・新指定文化財の指定書交付式を行いました。

平成23年3月30日付けで指定した、新指定の文化財に
ついて、指定書交付式を4月26日(火)に、さいたま市役所
教育委員会室で行いました。

・市指定無形民俗文化財「南部領辻の獅子舞」が、緑区
の鷺神社にて5月15日(日)に公開されました。



◀南部領辻の獅子舞



▲指定書の交付

前列左より：[法光寺] 渡辺さん(副住職)、桐生教育長、
〔冰川神社〕宮崎さん(禪宣)
後列左より：五月女生涯学習部長、
〔冰川神社〕本庄さん(禪宣)、
〔同〕東角井さん(禪宣)、
〔同〕新渡戸さん(禪宣)

・市指定無形民俗文化財「大久保領家の民謡と踊」が、5月31日(火)に県文化財保護協会から、優良文化財
保護団体として表彰されました。

さいたま市内指定文化財等公開カレンダー

平成23年7月から9月

	名 称	日 時・場 所・内 容
1	宿の祭ばやし	7月9日(土) 14時から 大久保神社(桜区宿69) 大久保神社に奉納される祭囃子で、宿地区を神輿と共に巡行します。祭りの終盤(19時から)には、塚本、五関の屋台車と競演があります。
2	神田の祭りばやし	7月9日(土) 14時から 八雲神社(桜区神田550) 江戸神田囃子の系統の五人囃子で、八雲神社から神輿とともに、月読社をはじめ神田地区内を巡行します。
3	秋葉さら獅子舞	7月16日(土) 10時から 秋葉神社(西区中釣818)・永昌寺(西区中釣1699) 10時に中釣自治会館を出発し、11時50分頃秋葉神社境内で獅子舞を披露します。また、16時より永昌寺三尺坊で獅子舞を披露します。
4	田島の獅子舞	7月16日(土) 16時30分頃から 田島氷川社(桜区田島4-12-1) 3頭の獅子が笛の音にあわせ、太鼓を打ちながら優美に舞います。
5	駒形の祭ばやし	7月17日(日) 12時から 須賀神社(緑区中尾1430-3) 須賀神社の祭礼のため、駒形地区を神輿とともに巡行します。宵山(前日の夜)には、高校生の演奏や、オカツコ・ヒョットコや獅子舞も披露されます。
6	砂の万灯	7月17日(日) 16時から 八雲神社(見沼区東大宮1-13-9)に7組の万灯組が、悪疫退散等を祈願して各組の万灯を境内に並べます。夕方から万灯に灯がともり、違う印象が楽しめます。
7	浦和まつり	7月24日(日) 14時から 中山道浦和宿(浦和区仲町他) 浦和木遣保存会が、木遣歌を歌いながら、旧中山道を八雲神社から調神社まで纏をふって歩きます。宿の祭ばやし、神田の祭りばやし、駒形の祭ばやしが各屋台車で披露します。また、市指定有形民俗文化財の「仲町獅子王祭獅子頭」を公開します。(仲町御酒所) ※問い合わせ先 さいたま観光コンベンションビューロー(☎048-647-8338)
8	氷川女體神社の名越祓え	7月31日(日) 15時から 氷川女體神社(緑区宮本2-17-1) 悪疫退散、健康を祈願する夏越しの行事で、人型に切った紙を川へ流し、穢れを取り除いた後、マコモで作った大きな輪を歩いてくぐります。
9	見沼通船堀閘門開閉実演	8月24日(水) 第1回10時から 第2回13時から(それぞれ1時間半程度) 見沼通船堀東縁 一の閘・二の閘 国史跡「見沼通船堀」の東縁で実際に水位を調節し、船を浮かべます。「見沼通船舟歌」(市指定無形民俗文化財)と歌にあわせた踊りを公開します。
10	深作さら獅子舞	8月27日(土) 16時から 深作氷川神社(見沼区深作2-15-4) 三頭の獅子と天狗による舞を五穀豊穣等を祈願して行います。境内に四本柱を立て、竹で天幕を支えた土俵で行う動きの激しい舞です。
11	指扇の餅つき踊り	8月27日(土) 17時頃から 滝沼川第2遊水地(西区指扇4406) かつて指扇地区内の家の庭で行われた餅つき踊りです。曲芸のような動作をしながら餅を搗く曲搗き等を披露します。
12	岩槻の古式土俵入り(笹久保地区)	9月18日(日)(予定) 15時から 篠岡八幡大神社(岩槻区笹久保810) 幼稚園から小学生までの子どもたちが、化粧回しを身につけ、古くから伝わる土俵入りの型を演じます。子供の健康、安全を祈願して行います。
13	最新出土品展 ~10周年記念事業	ここ10年を代表する調査成果と平成22年度を中心に市内各所で発掘した出土品や、調査の様子を展示します。(9月から11月にかけて、市内の博物館・区役所等で巡回展示します。) 見学無料 9月10日(土)~9月25日(日)(9時~16時30分) さいたま市立博物館
14	遺跡発掘調査 成果発表会 ~10周年記念事業	9月17日(土)(10時30分~15時30分) 入場自由・申込不要 最新出土品展開催に伴い、埋蔵文化財担当者による発掘調査の成果を発表します。

見学や公開に関する詳しい内容は、さいたま市ホームページをご覧いただとか、文化財保護課(048-829-1723)までお問い合わせください。天候によっては、中止延期の場合があります。

さいたま市文化財時報

《編集・発行》

さいたま市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課

℡330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号

☎048-829-1723 ☎048-829-1989

<http://www.city.saitama.jp/>

樞りばーど

第41号

平成23年6月30日

この刊行物は1,200部作成し、1部あたりの印刷経費は46円です。